

令和2年度第1回奈良県立病院地方独立行政法人評価委員会 概要

1 日 時 令和2年8月4日（火） 15:00～17:00

1 場 所 奈良県文化会館 2階 集会室A・B

3 出席者【委 員】新川委員長、浮舟委員、上野委員、平井委員

【病院機構】上田理事長、上山副理事長、菊池理事、横山理事、川手理事、村田理事、嶋田法人本部事務局長、杉元法人統括看護管理者、山本総合医療センター経営企画室長兼医事課長、木村西和医療センター事務部長、北村総合リハビリテーションセンター院長補佐、吉田総合リハビリテーションセンター事務部長、他

【奈良県】鶴田局長、堀辺次長、増田課長、奥補佐 他

4 会議要旨

<内 容>

- (1) 令和元年度 奈良県立病院機構 決算の概要
- (2) 奈良県立病院機構における新型コロナウイルス感染症の対応について
- (3) 令和2年度（4～6月）奈良県立病院機構の経営状況
- (4) 令和元年度の業務の実績に関する評価結果（案）について

「令和元年度の業務実績」に関する評価結果(案)についての意見

・ 県の評価結果(案)は、妥当である。

<その他、主な発言内容>

・ 「医療の質の評価」の取り組みで、法人の自己評価において西和とりハが「B」評価となっているがどうか。

→（機構）・ 全ての部門でインシデントレポートを積極的に行い改善していく意識の定着が必要。医師の報告数は少しずつ増えているが、看護師からの報告が多くを占めている現状があることから、西和とりハを「B」評価とした。

・ 新型コロナウイルス感染症における県の対応について、県立医大との役割分担や他病院との連携など、地域としてどのように取り組んでいるか。

→（県）・ 県内の感染症医療機関だけでなく、病院、医師会、看護協会、薬剤師会に参加いただき、毎週木曜日に県主催でweb連絡会議を開催し、情報共有を図っている。

・ 陽性患者が発生した場合、県に連絡いただき、患者の状態に合わせた入院先の調整を行っている。

- ・ 県総合、県立医大は重症患者の受入を行っていただき、それ以外の医療機関に中等症、軽症患者を受ける調整を行っている。

・ 西和は、今般の新型コロナウイルス感染症への対応の中で、地域への貢献の取り組みが飛躍したと感じるがどうか。

→ (機構) ・ 西和の役割を再考し、公的医療機関の使命として新型コロナウイルスに積極的に取り組む必要があると考え、入院患者受入や発熱外来の整備に取り組んできた。

- ・ 新型コロナウイルス対応に取り組んでいることは、西和の役割として、将来のあり方を考えていく上で、よい検討材料になると考えている。

・ 西和とリハは、BCPの見直しや緊急時の行動について課題と感じた。

→ (機構) ・ 西和とリハは、BCPの策定が課題であること、また、西和は建物の耐震強度を高めることも課題であるため、法人の自己評価として「B」評価とした。

・ 新型コロナウイルス感染症に対応する病院の中には、ボーナスを支給しないとといったニュースもあるが、職員の生活や健康面についてきめ細かいサポートをお願いしたい。

→ (機構) ・ 職員に対し、ホテルの借り上げ、PCR検査の実施、手当の支給、院内保育の整備等を行っている。

- ・ 防護服等の物品の不足が発生しないように、また、ホテルの借り上げなど働く環境については、県、院長、事務職員が迅速に対応し、職員が新型コロナウイルスに立ち向かえるよう環境整備に取り組んだ。

・ 財務内容について、総合は頑張っているが、西和とリハの改善が少し遅れている。

→ (機構) ・ 西和は、新型コロナウイルス対応とともに診療内容の充実についても併行して進めており、稼働率や入院単価等も上昇している。今後、可能な限りコロナ診療を効率化し、一般診療を戻すとともに、収益向上に取り組んでいく。

- ・ リハは、経営改善の大きな要素であるリハビリ実施件数の増加に取り組んでおり、引き続き努力していく。

・ 新型コロナウイルス感染症における、空床補償問題について、県や国において、一定の補償があると聞いているが、県では、どのように取り組んでいるか。

→ (県) ・ 県としては、経営面、財務内容について、それぞれの入院状況、病床稼働率等を注視し、どの程度の影響が出ているか確認している。

- ・ 空床問題については、国から交付金があり、病院ごとに状況を把握し、空

床補償をしていきたい。